

2026年6月5日

# 沖縄やんばるDMO 設立事業説明会

2026年4月1日始動

一般社団法人沖縄やんばるDMO



# 「やんばる」とは？

沖縄県北部地域の1市2町9村の地域

やんばるマップ



## 離島も含めた12市町村

やんばるの人口と面積

DATA

人口: 128,927人

面積: 825.48 k m<sup>2</sup>

## 「やんばる（山原）」とは

「山々が連なり、鬱蒼とした常緑広葉樹の森が広がる地域」という意味を持ち、具体的には豊かな森と山々が連なる沖縄本島北部一帯を指す言葉

# やんばる観光はいま、大きな転換点に！

世界自然遺産



ジャングリア沖縄



クルーズ船寄港・本部港の活用



インバウンド回復・拡大

これまで以上に、「大きな期待」がやんばるに寄せられています！

画像引用元々URL：[世界自然遺産やんばるを知ろう](#) | [やんばる3村観光ポータルサイト](#)

[クルーズ船寄港予定](#) | [那覇港管理組合](#) | [海外・国内と沖縄を結ぶ物流拠点](#) [Okinawa-Amami STORYBOOK](#)

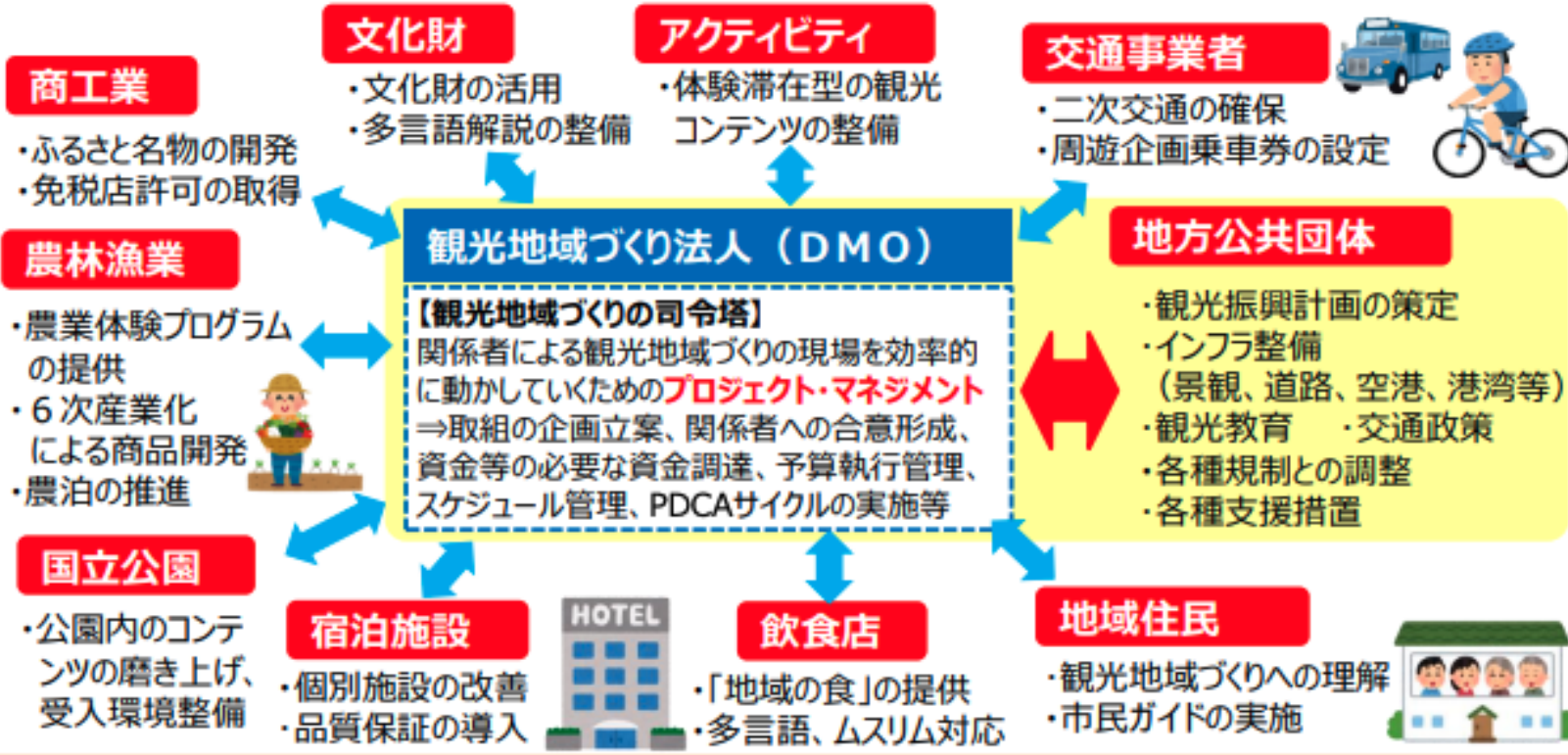
# 「DMO」とは？

(Destination Management/Marketing Organization)

地域が一体となって、観光を活用した地域づくりを行う「観光地域づくり法人」

## 地域の関係者を巻き込んだ体制の構築

観光地域づくり法人(DMO)を中心とし、地域の関係者が主体的に参画した体制を構築



- ターゲティング等の戦略策定
- 観光コンテンツの造成
- 受入環境の整備

地方誘客・旅行消費拡大

出所：観光庁

## DMO形成を地域活性の起爆剤に

地方創生（持続可能な地域づくり）のツールとして「観光」を活用する

# 沖縄やんばるDMOの設立背景

これまで、北部地域の素通り観光や宿泊日数の増加、周遊促進など広域的な課題解決に向け、DMOの設立が検討されてきました。

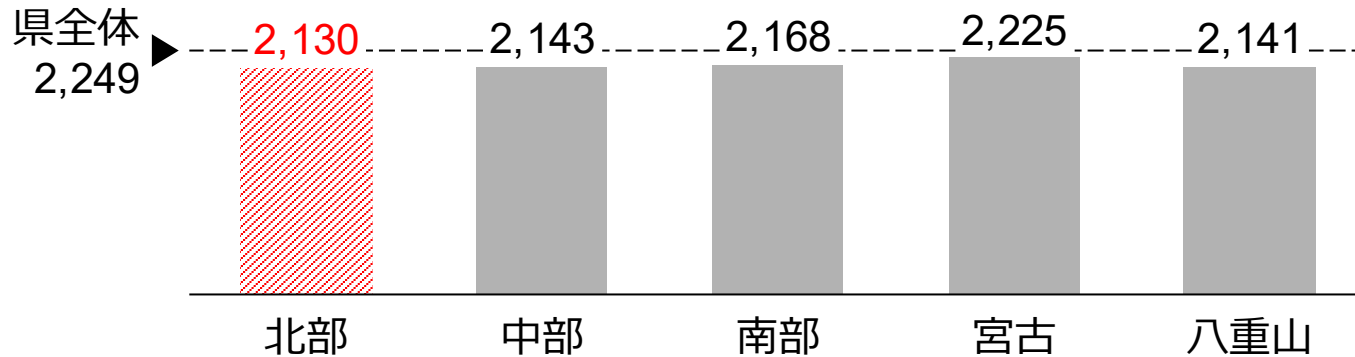
## やんばる地域における観光課題

- **各市町村が単独で解決できない広域的な観光課題が存在**
  - 観光による地域進行、北部地域全体への周遊促進、滞在型観光の推進。
- **限定的な地域経済への波及効果**
  - 年間450万人以上の観光客が訪れているが、二次交通や旅マ工の情報発信不足により、宿泊日数が短く、**観光消費による地域経済への波及効果が限定的**。

## 沖縄やんばるDMO設立へ

- **観光を軸に北部12市町村が連携し、北部地域全体の所得の向上と経済効果の最大化を図るための中核組織**として、**地域連携DMO（沖縄やんばるDMO）**の設立が検討されてきた。

令和4年度市町村別県民所得（単位：千円）



出所：沖縄県企画部統計課より作成



20250412  
琉球新報

# 沖縄やんばるDMOが実施する事業の全体図

やんばる地域を対象地域として、「マーケティング事業」と「マネジメント事業」の2つの観点から事業を展開する。

## 沖縄やんばるDMOの事業内容

### やんばる地域に観光客を誘客するための事業 (マーケティング事業)

観光客（市場）誘客を目的に①～⑤の事業を実施

#### ①市場調査

観光動向の分析

分析結果の共有

#### ②マーケティング・ブランディング

やんばる地域のブランド構築・開発

#### ③商品開発

地域内周遊商品の開発（テーマ別）

#### ④一般消費者向け活動

観光ウェブサイト構築・運営による情報発信

広報ツール作成

イベント・旅行博  
への出展

観光客への情報発信

#### ⑤観光事業者向け活動

旅行会社・メディアへの働きかけ

### 持続的な観光地を形成するための事業 (マネジメント事業)

観光客・地域住民・事業者向けに①～④の事業を実施

#### ①受入環境整備

二次交通の整備

インバウンド対応

観光案内

#### ②地域理解促進

住民への理解促進

生活環境の保全

#### ③人材育成・確保

地域観光人材育成・確保

#### ④ルール・マナー等の整備・発信

観光ルール・マナーの  
整備促進

観光危機管理体制  
の整備

※2025年度から、北部広域市町村圏事務組合がリーディング事業として先行して事業スタート

# 沖縄やんばるDMO設立準備委員会

北部広域市町村圏事務組合DMO設立準備プロジェクトチームが事務局となり  
多様な地域内外の観光関係者による準備委員会でDMOの設立に向けて議論を重ねてきました。

区分	氏名	役職
行政	渡具知 武豊	北部広域市町村圏事務組合 理事長
観光協会	比嘉 明男	沖縄北部地域観光協会 会長
観光施設	湧川 盛順	一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長
	佐藤 大介	株式会社ジャパンエンターテイメント 取締役副社長
宿泊施設	前田 裕子	株式会社前田産業ホテルズ 取締役会長
交通 事業者	山城 克己	一般社団法人沖縄県バス協会 会長
スポーツ	當山 智士	ツール・ド・おきなわ 大会実行委員長
学術機関	林 優子	公立大学法人名桜大学 副学長

第1回 2025年6月17日

第2回 2025年12月2日

第3回 2026年1月14日

第4回 2026年2月24日



# 沖縄やんばるDMOの設立



## 観光協会

名護市 観光協会	国頭村 観光協会	大宜味村 観光協会	東村観光 推進協議会
今帰仁村 観光協会	本部町 観光協会	恩納村 観光協会	宜野座村 観光協会
金武町 観光協会	伊江島 観光協会	伊平屋島 観光協会	いぜん島 観光協会



公立大学法人  
**名桜大学**  
MEIO UNIVERSITY



北部広域市町村圏事務組合

沖縄北部地域観光協会

公立大学法人名桜大学

一般社団法人 沖縄やんばるDMO  
2026年3月5日 設立



**1. Why ?**

2. What ?

3. How ?

Why ?

# 来た時よりもより美しく

世界に誇るやんばるの「生命の輝き」を未来へ繋ぐ  
(いのち)



# 沖縄の始まりが「やんばる」にある

琉球國中山世鑑卷一  
琉球開闢之事

曩昔天城ニ阿摩美久ト云神御坐シケ  
リ天帝是ヲ召レ宣ケルハ此下ニ神ノ  
可住靈處有リ去レトモ未タ嶋ニ不成  
事コソクヤシケレ爾降リテ嶋ヲ可作  
トソ下知シ給ケル阿摩美久畏リ降リ

ノ浪ハ西海ニ打越シ西海ノ浪ハ東海  
ニ打越シテ未タ嶋トソ不成ケリ去程  
ニ阿摩美久天へ上リ土石草木ヲ給ハ  
レハ嶋ヲ作りテ奉ントソ奏シケル天  
帝睿感有テ土石草木ヲ給リテケレハ  
阿摩美久土石草木ヲ持下リ嶋ノ数ヲ  
ハ作りテケリ先ツ一番ニ國頭ニ邊土  
ノ安頭森次ニ今鬼神ノカチヒヤフ次

ニ知念森齊場嶽藪薩ノ浦原次ニ玉城  
アツ、次ニ久高コハウ森次ニ首里  
森真玉森次ニ嶋嶋國國ノ嶽嶽森森ヲ  
ハ作りテケリ數萬歳ヲ經ヌレトモ人  
モ無レハ神ノ威モ如何テカ可顯ナレ  
ハ阿摩美久又天へ上リ人種子ヲソ乞  
給ケル天帝宣ケルハ爾カ知タル如ク  
天中ニ神多シト云ヘトモ可下神無シ

重  
新  
校  
正

中山世鑑



1. Why ?

**2. What ?**

3. How ?

# 市町村では解決できない 広域的で公益的な課題解決

What ?

～観光の力で地域のを解き放つ～



一般社団法人沖縄やんばるDMO

## 沖縄やんばるDMOの目的

“**沖**縄県北部地域の12市町村（以下、「やんばる地域」という）の地域の行政機関及び民間事業者、教育機関が一体となり、やんばる地域の自然・文化・住民生活と調和した持続可能な観光地域づくりを推進することにより、観光を通じてやんばる地域の本質的価値を世界へ提供し、地域の所得と幸福度及び観光客の満足度の向上を図るとともに、経済効果の最大化と環境負荷の最小化を両立させ、地域と来訪者が共に幸せを分かち合う豊かな未来の実現に寄与することを目的とする。”



### キーワード

- 自然・文化・住民生活と調和
- 持続可能な観光地づくり
- やんばるの本質的な価値の提供
- 地域の所得の向上
- 幸福度の向上
- 経済効果の最大化
- 環境負荷の最小化
- 地域と来訪者がともに幸せを分かち合う

**地域が一体となっていて観光の力で、  
住む人も、来る人も、働く人も、Happyに！**

# 私たちの存在意義と使命（パーパス&ミッション）

(案)

## パーパス

**世界に誇るやんばるの「生命（いのち）の輝き」を未来へ繋ぎ、持続可能な豊かさを地域にもたらす。**

解説：私たちの活動の根源は、やんばるの奇跡的な自然と、そこで育まれた文化、つまり「生命の輝き」を守り、未来へ継承することです。そして、その価値を地域経済の力に変え、一過性ではない「持続可能な豊かさ」を実現します。「保護」と「振興」の二項対立を乗り越えることが、私たちの存在意義です。

## ミッション

**[マネジメント] 自然と文化が調和した、世界水準のサステナブルな観光地を創造する。**

解説：質の高いデスティネーション（目的地）を「創る」活動です。二次交通の整備、環境保全プログラムの策定、地域産品を活かした体験開発など、旅行者が訪れたい魅力的な地域そのものを磨き上げます。

**[マーケティング] やんばるの唯一無二の価値を世界に届け、質の高い交流を促進する。**

解説：創り上げた価値を世界に「届ける」活動です。データに基づきターゲットを明確化し、効果的なプロモーションを展開することで、やんばるの価値を正しく理解し、共感してくれる人々との交流を創出します。

## 私たちが目指す2030年の姿（ビジョン）



**【経済】**観光が地域経済の柱となり、多様な担い手が誇りを持って活躍する地域。

目指す姿:観光客が地域全体を周遊し、宿泊、飲食、体験活動など多様な消費を行うことで、中小事業者や農林漁業者にも経済的な恩恵が行き渡る。「観光需要の偏在化」が解消され、誰もが観光産業の担い手となる未来。



**【環境・文化】**世界自然遺産の価値が守られ、訪れる人と地域住民が共に育む地域。

目指す姿:観光収益の一部が自然保護活動に還元される仕組みを確立。旅行者は環境保全のルールを理解・遵守し、住民は観光客を温かく迎える。「環境・住民への負荷」が最小化され、共存共栄が実現された未来。



**【体験価値】**全ての旅行者が感動的な体験を通じて、やんばるのファンになる地域。

目指す姿:表層的な観光ではなく、やんばるの自然の奥深さや文化の豊かさに触れる本物の体験が提供される。「脆弱な受入環境」が改善され、質の高いおもてなしにより、旅行者が生涯忘れられない思い出を持ち帰る未来。

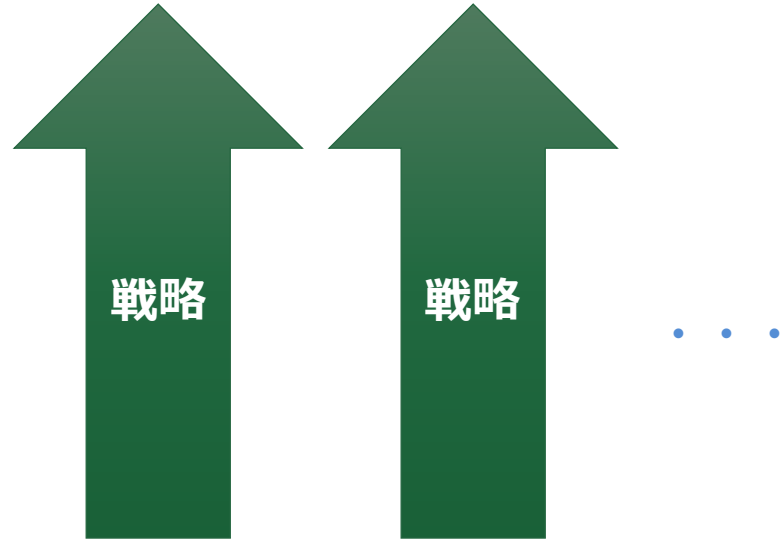


1. Why ?

2. What ?

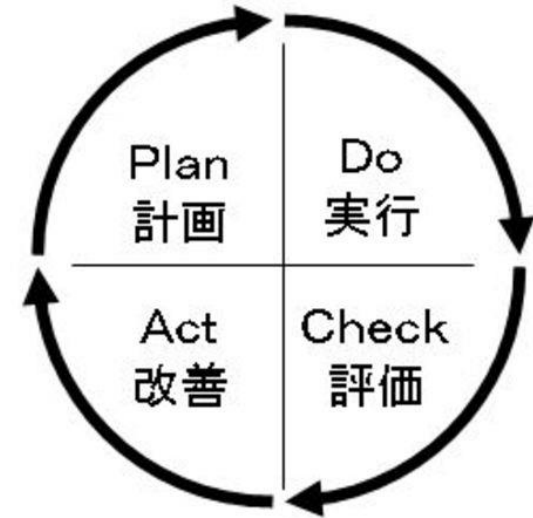
**3. How ?**

あるべき姿



現状把握

ポジショニングの考え方を  
観光の領域にあてはめてみると



PDCAを回す

観光の仕事をはじめて  
最初の驚き

## 観光業という 業種がない？

観光業は、日本標準産業分類※で  
ひとつの業種として分類はされていない。

※ 参照：<https://ja.wikipedia.org/wiki/日本標準産業分類>

日本標準産業分類とは、日本における産業分類のうち20世紀半ばに成立して現在用いられているもの、標準産業分類の日本版を指す。日本の公的統計における産業分類を定めた総務省告示であり、統計調査の結果を産業別に表示する場合の統計基準として1949年（昭和24年）10月に設定されて以来、改定が重ねられてきた。農業・建設業・製造業・卸売業・小売業・金融業・医療・福祉・教育・宗教・公務などのすべての経済活動を、大分類・中分類・小分類・細分類の4段階に分類している。

<https://yambaru-tour.net/business/dmp/>

やんばる観光データポータルサイト  
Yambaru Tourism Data Portal

ホーム > DMP

## Yam-D (やんでい)

やんばる観光データポータルサイト  
Yambaru Tourism Data Portal

### やんばるエリア観光速報

やんばるエリアの観光統計データ

2026年03月 やんばるエリアの観光統計データ

入込数 合計 942,476 人	観光消費額 合計 69,910,637,500 円	観光消費額 1人あたり 74,178 円	満足度割合 (満足→大変満足) 96.05%	観光客NPS 53.95	宿泊稼働率(OTA) 66.41%
------------------------	---------------------------------	----------------------------	------------------------------	-----------------	----------------------

#### 入込数 時系列および年間比較

累計 (左軸) / 選択パラメータ値 (右軸)

2025年10月: 1M / 2025年11月: 1.5M / 2025年12月: 2.5M / 2026年1月: 3.5M / 2026年2月: 5.2M / 2026年3月: 6,209,425

月別集計 全ての月

2025	2,380,182
2026	2,629,425

- 入込数【月次更新】: 日本観光振興協会が公表しているオープンデータを元に算出
- 観光消費額合計【月次更新】: 入込数 × 「やんばるハッピーアンケート」の値を元に算出
- 1人あたり観光消費額【月次更新】: やんばるエリア全体消費額を入込数で割ることで算出
- 満足度割合【月次更新】: 「やんばるハッピーアンケート/やんばるエリアでの体験・サービスの満足度」の設問にて「大変満足・やや満足・満足」のいずれかを選択した割合を元に算出
- 観光客NPS【月次更新】: 「やんばるハッピーアンケート 推奨度」の値を元に算出
- 宿泊稼働率【月次更新】: 「宿泊クローリングデータ」のうち、掲載数、在庫数を元に算出

※日本人のみのデータを元に算出しています。

Tableau Public のビュー

このページをシェアする!

## 一目でわかるやんばる観光データ

### やんばるエリアの観光客の動向

やんばるエリアを訪れる観光客の基本情報や特性を把握することができます。

観光客の特徴は? [詳細を見る]	観光客の観光目的は? [詳細を見る]	観光客の同行者は? [詳細を見る]	やんばるエリアを知ったきっかけは? [詳細を見る]
観光客の交通手段は? [詳細を見る]	観光客の宿泊数は? [詳細を見る]	観光客の消費動向は? [詳細を見る]	観光客の再来訪意向は? [詳細を見る]
観光客の満足度は? [詳細を見る]	観光客のNPSは? [詳細を見る]	観光客の改善要望は? [詳細を見る]	

## 宿泊データ

### 宿泊旅行統計調査

宿泊施設を対象に実施される観光庁の統計調査で、沖縄県内、北部地域内の宿泊数などを把握し、観光政策の立案や地域観光の分析、宿泊業の経営判断に役立てることができます。

沖縄県内の延べ宿泊者数 日本人/外国人別に集計した沖縄県内の延べ宿泊者数 #月次更新 [詳細を見る]	インバウンド延べ宿泊者数 沖縄県内における国籍ごとのインバウンド延べ宿泊者数 #月次更新 [詳細を見る]	北部地域の延べ宿泊者数 北部地域の延べ宿泊者数や宿泊者推移 #年次更新 [詳細を見る]
---	---	--

### 宿泊OTAクローリングデータ (サンプル)

このデータはサンプルデータになります。

沖縄やんばるDMO会員の方は、2018年～最新版のデータを確認することができます。

※会員向けの提供は2026年4月以降を予定しております。

宿泊予約情報 #サンプル [詳細を見る]	宿泊実績情報 #サンプル [詳細を見る]	平均単価と客室稼働率 #サンプル [詳細を見る]
----------------------------	----------------------------	--------------------------------

やんばる内を36エリアに分けて  
約160箇所に告知QRコードを設置



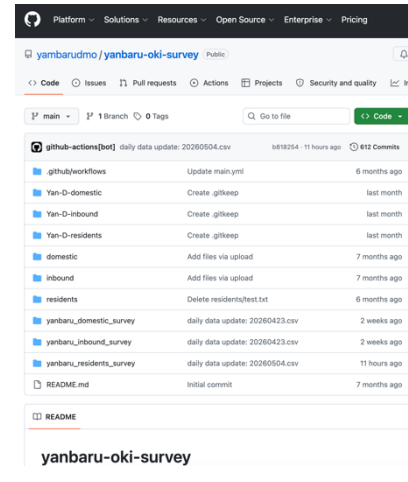
(2025年10月1日  
~2026年2月28日)

アンケート収集数

**6,011**件

アンケートデータ

GitHub上に  
オープンデータ化



↑ 学術研究、学校の授業、ハッカソンイベント等  
自由に活用可能

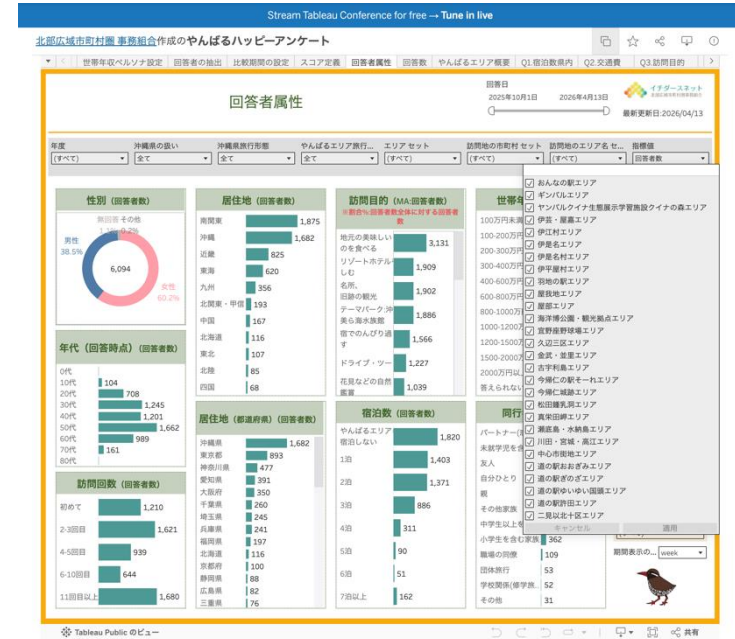
## Yam-D (やんでい)

12市町村別、36のエリア別で分析可能

日時更新の簡易分析  
ダッシュボード



月次更新の詳細分析  
ダッシュボード



旅行形態 / 目的 / 宿泊数 / 消費額 / 満足度 / 推奨意向 / 情報収集方法  
観光地に改善点や求める事などを把握できるダッシュボード

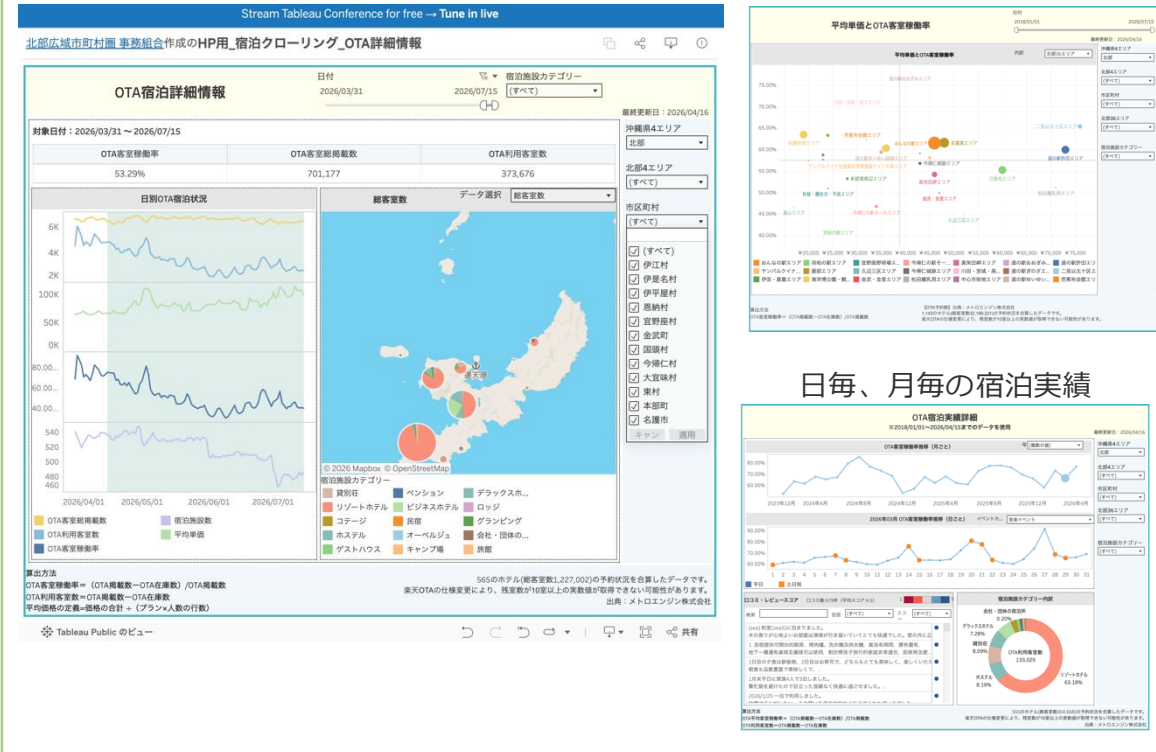
やんばるエリア 1日あたりの宿泊キャパシティ

令和6年宿泊施設実態調査結果 (令和7年6月25日発表)		合計				収容 人数
		軒数	客室数			
	和		洋	計		
沖縄本島 (北部)	1名護市	211	75	3,530	3,605	11,453
	2国頭村	38	63	327	390	1,251
	3大宜味村	28	13	27	40	224
	4東村	26	13	82	95	407
	5今帰仁村	264	35	790	825	3,844
	6本部町	398	134	2,387	2,521	10,888
	7恩納村	402	244	5,839	6,083	21,916
	8宜野座村	30	33	112	145	646
	9金武町	59	27	282	309	1,180
	小計	1,456	637	13,376	14,013	51,809
離島 (北部)	10伊江村	31	57	148	205	605
	11伊平屋村	18	69	63	132	662
	12伊是名村	18	78	64	142	400
		小計	67	204	275	479
<b>合計</b>		<b>1,523</b>	<b>841</b>	<b>13,651</b>	<b>14,492</b>	<b>53,476</b>

Yam-D (やんでい)

12市町村別、36のエリア別で分析可能

過去の実績と、90日先までの宿泊予約状況の  
分析ダッシュボード



平均単価とOTA客室稼働率

日毎、月毎の宿泊実績



正直なものではなく  
あくまで傾向分析ツールとして提供

観光客アンケート (国内・インバウンド)



- 回答者数
  - ・4,726件(25年10月～26年1月)
- 国内観光客の特徴
  - ・県内約28%、県外約72%が回答
  - ・回答者の約29%が日帰り
  - ・目的は「地元の美味しいものを食べる」、同行者はパートナーや家族が多い。

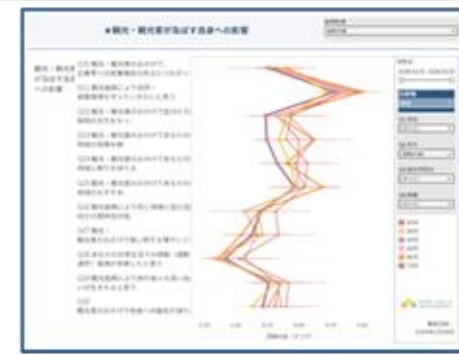


- 国内NPS
  - ・52.4は、高水準
- 市町村ごとのNPS
  - ・大宜味村の66.5を筆頭に、伊江村、伊平屋村、名護市と続く。
  - ・いずれの市町村もNPSが47を超える高水準にある状態



- 回答者数
  - ・221件(25年10月～26年1月)
- インバウンド観光客の特徴
  - ・アジア約71%、北米約17%
  - ・やんばるの初回訪問は約68%
  - ・やんばる地域に約3.4日宿泊
  - ・NPS58.82は高水準

住民アンケート



- 回答者数
  - ・370件(25年12月～26年1月)
- Q24 観光・観光客のおかげであなたの住む地域に誇りが持てる
  - ・20代が3.63で最多(24件)
  - ・40代が3.15で最小(115件)
  - ・その他項目でも、40代が低くなる傾向あり

宿泊OTAクロージングデータ



- OTA予約状況 (26年2月～4月)
  - ・平均単価は、北部は2月以降微増。一方、中南部は2/4～17で急上昇。
  - ・OTA稼働率は、中南部・北部ともに、3月以降は50%を下回り、下降傾向あり。



- OTA稼働率×平均単価 (25年1月～26年5月)
  - ・今帰仁村、本部町、宜野座村、金武町など北部地域は、「高単価×中稼働」が多い傾向にある。

交通量データ



- 大宜味村根路銘の特徴 (名護市からみて、古宇利町行と大宜味村行の交通量)
  - ・平日は、8時/11時/17時に上り(北)向きが増加。
  - ・土日祝は、10時～17時まで上り(北)向きが増加。

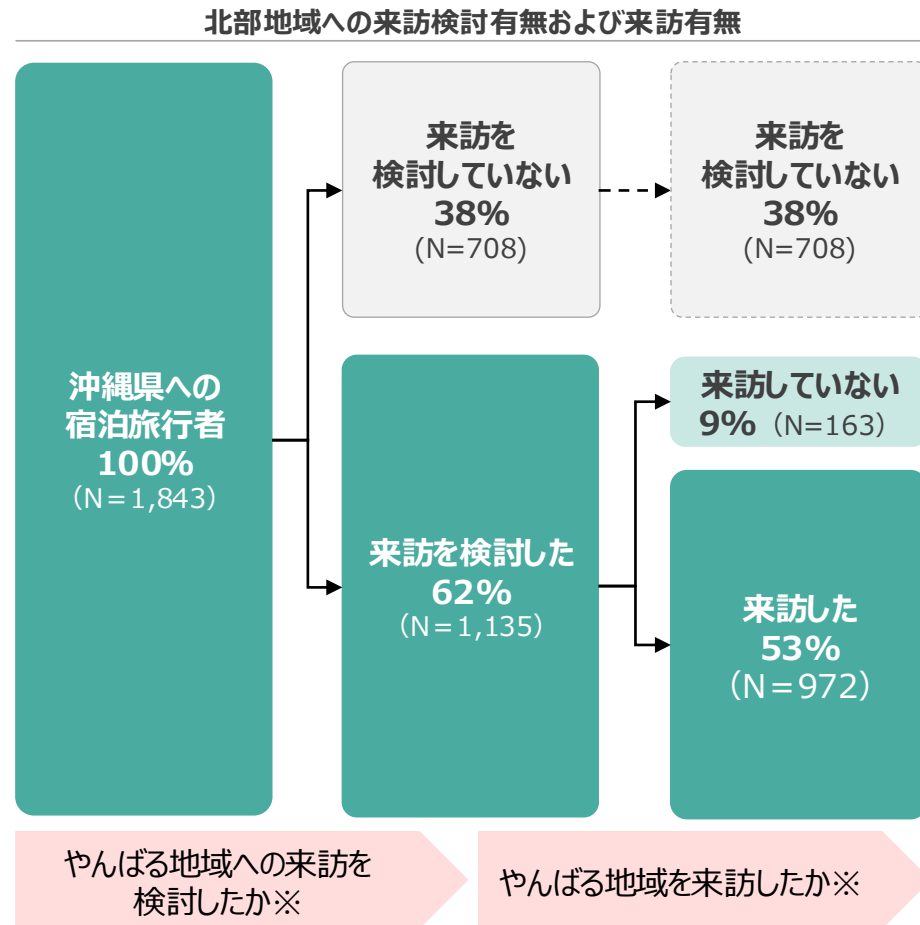
観光消費額データ ※検討中



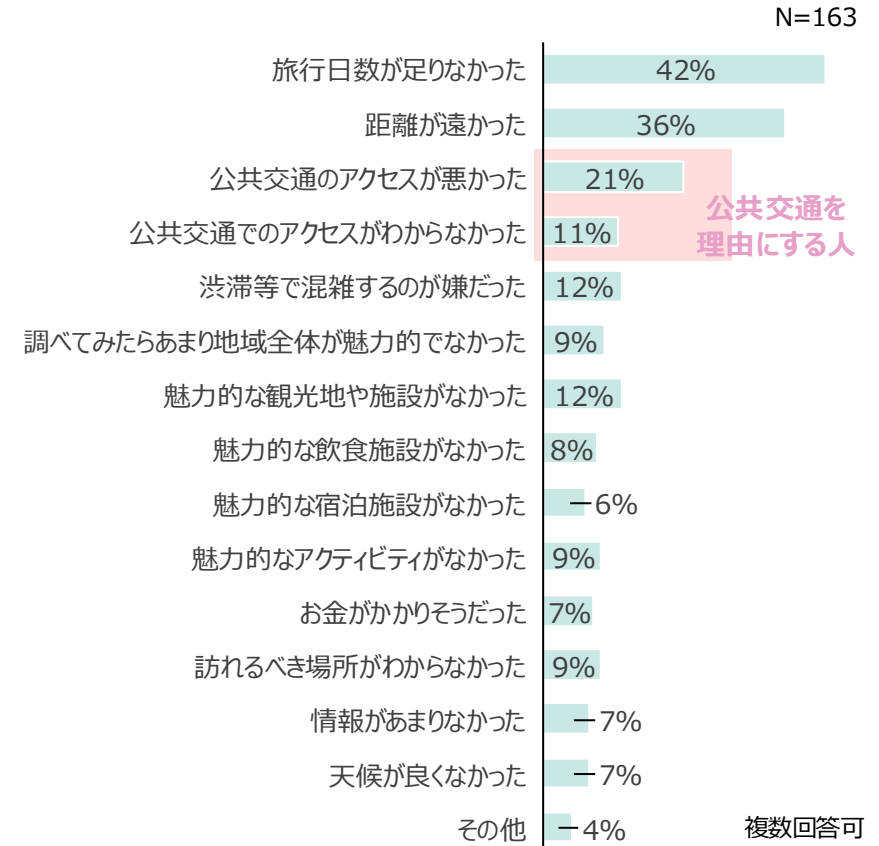
- 観光消費額(国内観光客) ※計算ロジック含めて試算中
  - ・入込数約78万人(10月)×一人当たり観光消費額約6.9万円 = やんばる地域で約593億円(10月)
  - ・今後、インバウンドの観光消費額も算出し、12市町村別の観光消費額を公開していく予定。

## やんばる地域の観光来訪状況（来訪の経緯）

沖縄県の宿泊旅行者のうち、旅程の中でやんばる地域への来訪を検討した人は62%。来訪を検討した後に実際に来訪をした人は沖縄県宿泊旅行者の53%、来訪をしなかった人は9%を占める。やんばる地域への来訪を検討したが来訪しなかった理由として公共交通を理由の一つにしている人が1～2割程度いる。



### 北部地域への来訪を検討したが来訪しなかった理由



## やんばる地域の観光来訪状況（観光需要の推定）

		推定値	必要な取り組み
顕在需要	既にやんばる地域に来訪している人	401.8万人/年	滞在箇所数・滞在時間の増加による消費額増加
	やんばる地域が検討土台に上がっていない人	286.4万人/年	検討土台にあげるための魅力の訴求
潜在需要	やんばる地域を検討しても選択しない人	65.4万人/年	選択させるための魅力の向上、阻害要因の排除
	公共交通のアクセスの悪さが理由のひとつ	13.7万人/年	公共交通の利便性向上
	公共交通の分かりにくさが理由のひとつ	7.2万人/年	公共交通の分かりやすさ向上

### <参考> 推定値の算出方法

	項目	数値	単位	出所
①	入域観光客数（国内）	753.6	万人/年	令和6年入域観光客概況（沖縄県）
②	やんばる地域の来訪検討率	62%	-	やんばるDMOブランディング調査アンケート
③	やんばる地域の来訪検討後の来訪率	86%	-	やんばるDMOブランディング調査アンケート
④	やんばる地域への来訪率	53%	-	やんばるDMOブランディング調査アンケート（②×③）
⑤	やんばる地域への来訪を検討しない沖縄県旅行者数	286.4	万人/年	①×（100%-②）
⑥	やんばる地域への来訪を検討する沖縄県旅行者数	467.2	万人/年	①×②
⑦	→やんばる地域に来訪する沖縄県旅行者数	401.8	万人/年	⑥×③
⑧	→やんばる地域に来訪しない沖縄県旅行者数	65.4	万人/年	⑥×（100%-③）
⑨	・公共交通でのアクセスの悪さを理由にする人の割合	21%	-	やんばるDMOブランディング調査アンケート
⑩	→公共交通でのアクセスの悪さを理由にやんばる地域に来訪しない人	13.7	万人/年	⑧×⑨
⑪	・公共交通でのアクセスの分かりにくさを理由にする人の割合	11%	-	やんばるDMOブランディング調査アンケート
⑫	→公共交通でのアクセスの分かりにくさを理由にやんばる地域に来訪しない人	7.2	万人/年	⑧×⑪

あるべき姿

戦略

戦略

...

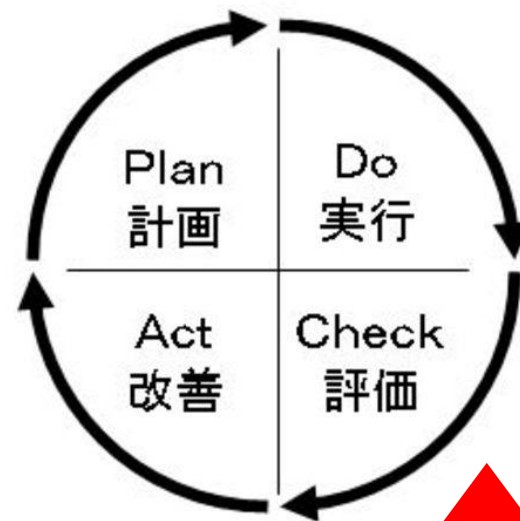
現状把握

ポジショニングの考え方を  
観光の領域にあてはめてみると

アクション

アクション

...



PDCAを回す



Yam-D (やんでい)

やんばるエリア観光事業者、12市町村の観光協会や自治体観光課の為の  
稼ぐ観光のためのマーケティング環境の提供

# KGI/KPIを設定してPDCAを回していく

			取得方法	指標の種別		現状数値
				KGI	KPI	
観光経済効果の最大化						
観光客数・滞在の増加	1	延べ宿泊者数	・ 観光事業者（宿泊施設のみ）へ調査表		○	-
	2	月別来訪者数の平準化率	・ DMPで実装予定の入込客数から計算		○	-
	3	平均宿泊数	・ ハッピーアンケート		○	1.64泊
	4	平均客室稼働率*	・ DMP		○	確認中
消費額・経済波及効果	5	一人あたり旅行消費額	・ ハッピーアンケート		○	70,897円**
	6	旅行消費額	・ 日本観光振興協会の来訪者 × 平均旅行消費額 (ハッピーアンケート) を想定	○		-
	7	経済波及効果*	・ DMPデータを活用予定。構成的指標として数値の算出が 遅れることもあるため、提出の仕方が重要		○	-
地域の所得の向上						
事業者の稼ぐ力	8	観光事業者の平均給与	・ 観光事業者へと調査する必要あり		○	-
	9	地域の平均所得	・ 沖縄県統計を利用（数値の更新は遅いため、提出は要検討）		○	-
観光客の満足度の向上						
体験満足の拡大	10	来訪者満足度（5段階評価）	・ ハッピーアンケート	○		4.49pt***
	11	来訪者推奨意向（NPS）	・ ハッピーアンケート		○	31pt
住民の観光に対する姿勢						
住民の受容性	12	持続可能な観光に対する住民満足度	・ やんばる地域住民向けアンケート		○	データ整備中
観光事業者の満足度	13	観光業界事業者の満足度	・ 観光事業者へ調査表	○		-
DMOの組織的運営						
組織運営・人材	14	職員の満足度	・ 職員面談/調査表		○	-
財務の安定	15	安定財源確保率	・ 決算資料を基に作成		○	-

今後詳細に  
決めていく

# 主要KPIの考え方（1）観光客

**入込人数**

満足度や**推奨意向**  
リピート率

観光客属性やニーズ  
に合わせたコンテンツ造成



**消費額**（≡滞在時間）

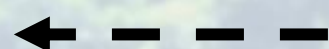
1人あたり消費額  
周遊数  
宿泊延数

**（宿泊稼働率）**



**観光消費額**

（地域循環率を意識して）



閑散期を埋める

# 主要KPIの考え方（2）地域住民

## 観光客との接点

観光関連従事者数  
会員数

← - - - 観光関連での所得の向上

## 地域への誇り

観光地域づくりへの参画  
地域を学ぶ機会

← - - - 地域住民の巻き込み

住民幸福度

# KPI達成に向けて

1. 北部地域観光DMP構築事業
2. 北部地域観光周遊計画策定業務
3. 本部港クルーズ船受入体制構築・支援業務
4. 北部地域観光人材育成業務

**まずは今年度**

**昨年度に北部広域市町村圏事務組合で起ち上げてくれた  
リーディング事業を引き継いでスタート**

# 1. 北部地域観光DMP構築事業

## やんばる - 沖縄県北部 - 公式観光サイト



AIを活用した観光案内

### 沖縄観光コンベンションビューローとの連携

- イベント情報
- ツアー・アクティビティ情報
- 観光スポット情報



## やんばる観光データポータルサイト Yam-D (やんでい)

<https://yambaru-tour.net/business/dmp/>

項目	値
入込数	942,476 人
観光消費額 合計	69,910,637,500 円
観光消費額 1人あたり	74,178 円
満足度割合 (満足→大変満足の新着)	96.05%
観光客NPS	53.95
宿泊稼働率(OTA)	66.41%

月	入込数
2025年10月	~100,000
2025年11月	~150,000
2025年12月	~250,000
2026年1月	~350,000
2026年2月	~450,000
2026年3月	528,907

年	入込数
2025	2,380,182
2026	2,829,425

※日本人のみのデータを元に算出しています。

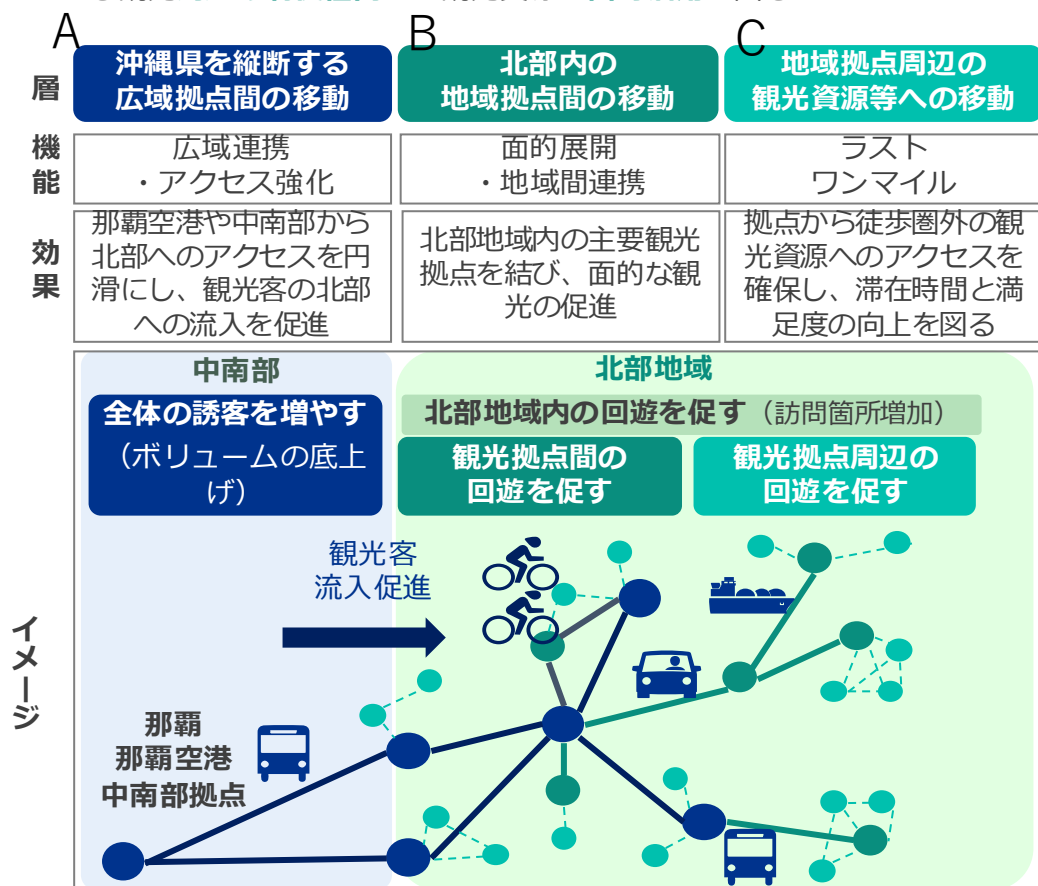
## 2. 北部地域観光周遊計画策定業務

### 沖縄県北部の観光交通ネットワークの構築の考え方

沖縄県北部地域では、観光資源が広域に点在している一方で、観光交通の多くが那覇空港からのレンタカー利用に依存しており、交通渋滞や環境負荷、交通弱者の移動制約といった課題が顕在化している。これらの課題を解決し、誰もが快適に周遊できる観光地を実現するため、幅広い移動手段を選択できる観光エリアの構築を目指す。

#### 拠点とネットワーク構築の考え方

- 観光客の移動ニーズや地域特性を踏まえ**三層構造**で整理し、それぞれに**適した交通手段と連携体制の構築**を目指すことで、沖縄北部地域における**観光周遊の利便性向上**と観光資源の**面的活用**を図る



#### 周遊手段の選択肢を広げるネットワークの構築

- 現在、観光客の移動手段はレンタカーに大きく依存
- 本事業を契機に観光客の**レンタカー以外の移動手段の選択肢を広げ**、環境負荷の軽減をはかりつつ、**誰もが移動しやすい観光地**を目指す

	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
現状	90%	10%未満		
観光移動	中南部 ↓ レンタカー	中南部 ↓ 公共交通	中南部 ↓ 公共交通	中南部 ↓ レンタカー
	↓ レンタカー	↓ レンタカー	↓ 公共交通	↓ 公共交通
	北部の各観光地			
利点	・好きな時間に好きな場所にアクセス可能	・中南部でのレンタカー貸出の時間削減 ・運転疲れ低減	・免許を持っていない・運転したくない人も観光できる	・中南部にも立ち寄りが可能
欠点	・運転が必要 ・レンタカー貸出時間	・①～③の間	・公共交通のネットワークやダイヤに依存	・公共交通のネットワークやダイヤに依存

## 2. 北部地域観光周遊計画策定業務

### R8年度実施内容（案）

調査や各12市町村における観光部署、観光協会、生活交通部署、交通事業者等へのヒアリング内容を踏まえて、下記の取組案や実証案を想定した。

取組内容（案）		実証内容（案）	
①	<b>交通情報 統一サイトの 構築に向けた 検討・調整</b>	北部エリアに係る民間高速バス、路線・自治体バス、シャトル、オンデマンド、ライドシェア、レンタ&シェアサイクル、カーシェア、レンタカー等の <b>すべての交通情報の一元化</b> サイト・ページの構築  <b>【当面の機能（案）】</b> ・ 観光周遊ルート ・ アクセスマップ <b>【機能の必要性も含めて検討】</b> ・ 経路検索（多手段比較） ：施設to施設（時間・費用・乗換・CO2） ・ 旅程生成 ：複数スポット、自動時刻連携、滞在時間調整など ・ チケット連携 ：予約（周遊パス、シャトル、オンデマンド、体験） ・ 多言語対応	<b>北部幹線（面積周遊の「幹」）を構築</b>  ・ 名護バスターミナル ・ 道の駅おおぎみやんばるの森ビジターセンター <b>東村のオンデマンドと接続</b> ・ 道の駅ゆいゆい国頭 <b>国頭村の国頭村周遊バス、くにながみAIバスと接続</b> ・ 中継候補
	<b>商品販売 （周遊パス 等）実証化へ に向けた検討・ 調整</b>	・ 周遊パス： 路線バス、シャトル、オンデマンド、自治体バスの共通電子チケット（連携できるものから）+連携施設の得点（飲食・体験割引） ・ バス商品販売（福井のようなイメージ） ・ セット商品（例：名護発・国頭1日周遊、たんばる体験、飲食クーポン） ・ 清算（乗車記録等による事前・事後清算）	<b>観光回遊・住民の買物・飲食アクセス改善（共生モデルの構築）</b>  <b>南北に長いので、2系統（エリア）で運行</b> <b>県道88系：</b> 屋嘉（金武）－恩納（ホテル群・飲食街） <b>県道104系：</b> 字金武－字安富祖（恩納）
		③	<b>シャトルA</b> <b>役割</b> <b>停留</b>
		④	<b>シャトルB・C</b> <b>役割</b> <b>設計</b>
		⑤	<b>シャトルD</b> <b>役割</b> <b>内容</b>

### 3. 本部港クルーズ船受入体制構築・支援業務

#### R7年度寄港実績およびR8年度寄港予定

R7年度寄港実績及び予定						
No	入港日時	出港日時	船名	総トン数(GT)	船籍	乗船人数(概算)
1	2025/11/23(日) 10:00	2025/11/24(月) 14:00	にっぽん丸	22,472	日本	200名
2	2025/11/26(火) 07:00	2025/11/26(水) 22:00	CORAL GEOGRAPHER	5,602	オーストラリア	120名
3	2026/3/3(火) 21:45	2026/3/4(水) 21:30	LE JACQUES CARTIER	9,988	フランス	294名
4	2026/3/10(火) 10:30	2026/3/10(火) 21:00	飛鳥Ⅲ	52,200	日本	950名

R8年度寄港予定						
No	入港日時	出港日時	船名	総トン数(GT)	船籍	乗船人数(概算)
1	2026/6/5(金) 13:00	2026/6/5(金) 18:30	LE SOLEAL	10,992	フランス	404名
2	2026/10/25(日) 7:00	2026/10/25(日) 18:00	MITSUI OCEAN FUJI	32,477	日本	458名
3	2027/1/23(土) 7:30	2027/1/23(土) 17:00	MITSUI OCEAN SAKURA	32,477	日本	458名
4	2027/1/28(木) 7:30	2027/1/28(木) 17:00	MITSUI OCEAN SAKURA	32,477	日本	458名
5	2027/3/15(月) 7:30	2027/3/15(月) 19:00	飛鳥Ⅲ	52,265	日本	740名
6	2027/3/19(金) 9:00	2027/3/19(金) 19:00	LUMINARA	46,750	アメリカ	448名

## 4. 北部地域観光人材育成業務

人材層ごとに異なる課題（収益化、教育コスト、地域連携）を解決するため、「経営リーダー」「現場実務」「ストーリーテラー」の3つの専門コースを策定した。各層に最適化されたプログラムを提供することで、地域全体のサービス品質と経営力を底上げする。

	1 観光経営リーダー育成コース	2 現場実務スキル向上コース	3 やんばるストーリーテラー育成コース
目的	『やんばるの観光を量から質へ転換するリーダーの輩出』	『北部地域全体の接客品質の底上げと、教育コストの削減』	『北部地域の点を線や面に繋げるコネクターを増やす』
対象	実践者層（地域の意思決定を担う、または今後担う予定の層） ⇒観光事業者の経営層・マネージャー 自治体・観光協会の若手リーダー	初級～中級（現場での即戦力化を目指す層） ⇒宿泊、飲食、小売、アクティビティ等の現場スタッフ（アルバイト・派遣・新卒・中途含む）	職種・役職を問わず、観光客と接点を持つ全ての方 ⇒宿泊・飲食・小売の現場スタッフ、タクシー運転手、アクティビティガイド、行政・観光協会職員など
想定習得スキル	グローバル・アイデンティティ 高付加価値マーケティング データ経営・DX ファイナンスと循環 共創リーダーシップ	ホスピタリティ インバウンド対応 観光案内 SNS発信 AI活用	学術的裏付け力 観光ストーリー構成力 地域連携ネットワーク 翻訳力 環境保全意識

これまでに無かった新たなチャレンジ

# やんばるブランドコンセプトの確立

地域の人たちが「やんばるとは？」に  
同じことを語れる世界を目指す

やんばるハッピーアンケート（観光客実態調査）から、AIが導き出したブランドコンセプト例

私たちの志：守りながら、豊かになる

やんばるの存在意義は、自然・文化・歴史を守りながら、観光を通じて地域活性化を実現する「環境共生型観光地」の形成にあります。



5つのビジョン (Vision Pillars)

1. 「やんばる」ブランドの確立
2. 観光効果の域内波及
3. データに基づく可視化
4. 広域受入体制の構築
5. 自然環境と住民生活の配慮

© NotebookLM

立ち位置：近くて深い、癒しの聖地



核となる想い (Core Identity)

やんばるの森で

五感を解き放ち

大切な人と時を紡ぐ

場所 (Place)

世界自然遺産の亜熱帯照葉樹林という固有の場

体験 (Experience)

都市で閉じた感覚が、森の静寂と音で開かれる

意志 (Will)

ただの観光ではなく、関係性を深める時間へ

© NotebookLM

12市町村でブランドWSを開催しながら  
やんばるが1つになっていく合意形成を仕掛けていく

沖縄やんばるDMO  
オフィシャル・フォトグラファー



写真家・フォトグラファー  
Chris Willson  
<https://travel67.com/>

イギリス出身のフォトグラファー、写真・動画クリエイター、  
トラベルライターとし活動、現在は沖縄県本部町を拠点に活動。

沖縄やんばるDMO  
ブランディング・スタイリスト



株式会社TiBee 代表取締役  
編集者・プロデューサー  
浅倉彩  
<https://tibee.co.jp/>

# KPI達成の為の5つの戦略の柱（案）

旅行消費額 / 経済波及効果

やんばる地域として取り組むべき重点を、5つの柱に整理。

01

平均客室稼働率  
推奨意向 / 住民満足度

## やんばるブランド の確立

沖縄県の大デスティネーションとして

### ▶ 主要アクション

地域全体のブランディング（イメージづくり）と統一的なプロモーション活動、各市町村活動を支える基盤整備

02

平均客室稼働率  
観光客満足度/住民満足度

## 効果の地域全体への波及

観光のもたらす効果を域内全域へ

### ▶ 主要アクション

観光客の流動化施策(東海岸・離島への周遊促進)  
観光公共交通網の整備、やんばるらしい観光コンテンツづくりと磨きあげ

03

平均客室稼働率  
観光客満足度

## 効果の可視化と情報提供

ステークホルダーの活動を支援

### ▶ 主要アクション

観光関連データ(DMP)の収集・整備と情報提供

04

平均客室稼働率  
観光客満足度

## 受け入れ体制の構築

あらゆる人がやんばるを楽しめるように

### ▶ 主要アクション

受入環境整備(交通基点整備〔バスターミナル・本部港〕・インバウンド・観光案内)、人材育成

05

住民満足度

## 持続可能な観光地づくり

観光と自然・住民生活の両立

### ▶ 主要アクション

ルール・マナーの策定・普及、観光危機管理体制、入域規制等の整備

ターゲット別に、複層的に積み上げていく



# 沖縄やんばるDMO の役割

# 沖縄やんばるDMOとOCVB、地域観光協会の役割

沖縄県内には沖縄観光コンベンションビューローが、またやんばる地域内には12の観光協会があるが、やんばるDMOはその中間に位置し、“地域の各市町村・観光協会に横ぐしを指し、地域全体の観光振興を底上げ”する位置づけ

	都道府県DMO	地域DMO	観光協会												
	 <p>沖縄観光コンベンションビューロー</p>	 <p>沖縄やんばるDMO</p>	<table border="1"> <tr> <td>名護市観光協会</td> <td>国頭村観光協会</td> <td>大宜味村観光協会</td> <td>東村観光推進協議会</td> </tr> <tr> <td>今帰仁村観光協会</td> <td>本部町観光協会</td> <td>恩納村観光協会</td> <td>宜野座村観光協会</td> </tr> <tr> <td>金武町観光協会</td> <td>伊江島観光協会</td> <td>伊平屋島観光協会</td> <td>いげな島観光協会</td> </tr> </table>	名護市観光協会	国頭村観光協会	大宜味村観光協会	東村観光推進協議会	今帰仁村観光協会	本部町観光協会	恩納村観光協会	宜野座村観光協会	金武町観光協会	伊江島観光協会	伊平屋島観光協会	いげな島観光協会
名護市観光協会	国頭村観光協会	大宜味村観光協会	東村観光推進協議会												
今帰仁村観光協会	本部町観光協会	恩納村観光協会	宜野座村観光協会												
金武町観光協会	伊江島観光協会	伊平屋島観光協会	いげな島観光協会												
管轄範囲	沖縄県全体	やんばる地域全体	単一市町村												
主な目的	沖縄県全体の観光振興	やんばる地域全体の観光戦略を立案・実行等	観光客の受け入れや観光情報の提供等												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の観光プロモーションを国内外で展開</li> <li>・MICE誘致や国際会議のサポート</li> <li>・観光事業者・自治体・DMOとの調整役</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やんばる地域全体のマーケティング・マネジメント事業</li> <li>・データ分析に基づく戦略策定</li> <li>・地域資源の活用</li> <li>・市町村を跨いだ事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自地域の観光プロモーション</li> <li>・イベントの運営・協力</li> <li>・地域観光事業者との連携</li> <li>・地域コンテンツの開発</li> </ul>												
	沖縄県全体への集客	やんばるエリア内での線や面での展開	観光コンテンツ（商品）造成と磨きあげ												



# 沖縄やんばるDMO 実行体制

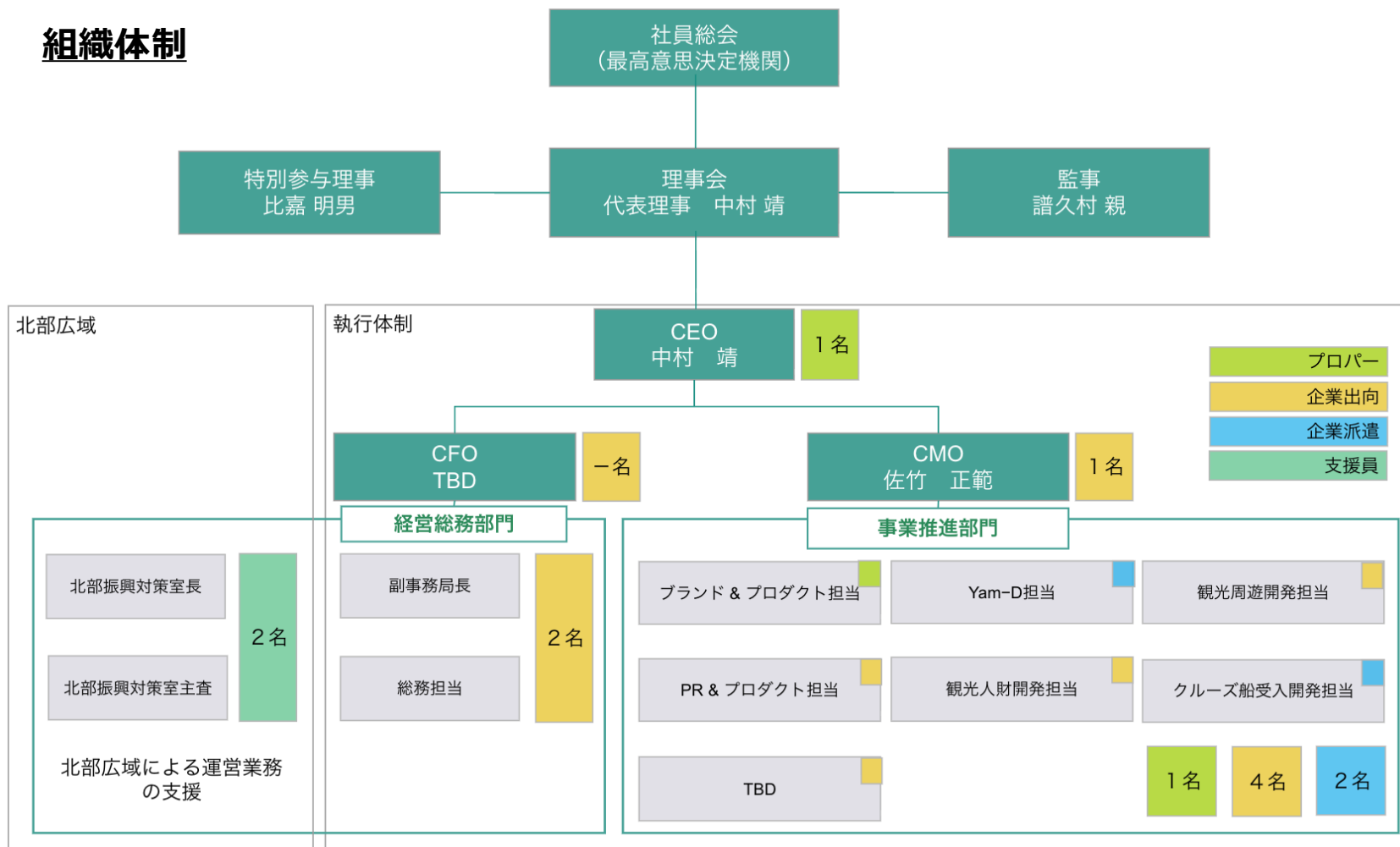
## 社員 (3社)

北部広域市町村圏事務組合  
 沖縄北部地域観光協会  
 公立大学法人 名桜大学

## 理事 (9名) ・ 監事 (1名)

- 代表理事 中村 靖  
(一般社団法人沖縄やんばるDMO)
- 理事 渡具知 武豊  
(北部広域市町村圏事務組合 理事長)
- 理事 比嘉 明男  
(沖縄北部地域観光協会 会長)
- 理事 林 優子  
(公立大学法人 名桜大学 教授)
- 理事 湧川 盛順  
(一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長)
- 理事 佐藤 大介  
(株式会社ジャパンエンターテイメント 取締役副社長)
- 理事 前田 裕子  
(株式会社前田産業ホテルズ 取締役会長)
- 理事 山城 克己  
(沖縄県バス協会 会長)
- 理事 當山 智士  
(NPO法人ツール・ド・おきなわ協会 実行委員長)
- 監事 譜久村 親  
(株式会社みらいおきなわ 代表取締役社長)

## 組織体制



No	雇用形態	出向・派遣元企業
1	採用	-
2	出向	株式会社PUREWORKS沖縄
3	出向	オリオンホテル株式会社
4	出向	株式会社沖縄銀行
5	出向	株式会社日本旅行沖縄

No	雇用形態	出向・派遣元企業
6	出向	一般財団法人沖縄美ら島財団
7	出向	日本トランスオーシャン航空株式会社
8	派遣	北部港運株式会社
9	派遣	NTT西日本株式会社

# 沖縄やんばるDMO 会員紹介（人的支援）



PUREWORKS

株式会社PUREWORKS沖縄

The Orion Hotel

Motobu Resort & Spa

オリオンホテル株式会社

① 沖縄銀行

SFG おきなわフィナンシャルグループ

株式会社沖縄銀行

NTT西日本

NTT西日本株式会社 沖縄支店



株式会社日本旅行沖縄



北部港運株式会社

北部港運株式会社



一般財団法人沖縄美ら島財団



日本トランスオーシャン航空株式会社

# 沖縄やんばるDMO 会員紹介（金銭的支援/物的・技術支援）

ホールアース自然学校沖縄校がじゅまる自然学校
STARGATE ENTERTAINMENT
株式会社伊江島観光バス北部営業所
株式会社沖縄どきどきツアーズ
株式会社沖成ガード
沖縄観光商事株式会社 海の旅亭おきなわ名嘉真荘
株式会社ゆがふホールディングス
株式会社沖縄映像センター北部営業所
やんばる案内人Tida-Smile
株式会社琉球若草
K A N A U株式会社 古宇利島の駅ソラハシ
株式会社前田産業ホテルズ
株式会社近畿日本ツーリスト沖縄
沖縄JTB株式会社
名護市観光協会青年部STEP
株式会社カヌチャベイリゾート
一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会
合同会社Star51
株式会社わんさか（わんさか大浦パーク）
沖縄ツーリスト株式会社

株式会社エバーグリーンモビリティ
沖縄セルラー電話株式会社
株式会社地域創生Coデザイン研究所
沖縄トヨタ自動車株式会社
株式会社AMS設計
アスムイハイクス
アトリエマンセル 岡田 宗徳
株式会社ハートボイルド
WHILL株式会社
やんばる工房株式会社
株式会社サポートスタッフ沖縄
株式会社山浩商事
名護漁業協同組合
TIS株式会社
株式会社丸金交通
OTS MICE MANAGEMENT株式会社
株式会社日建ハウジング やんばる支店
株式会社Region
OSC株式会社
屋我地エコソーネット
株式会社森のガラス館

# 沖縄やんばるDMO 会員紹介（行政/観光協会/教育機関）

## 12市町村

名護市
国頭村
大宜味村
東村
今帰仁村
本部町
恩納村
宜野座村
金武町
伊江村
伊平屋村
伊是名村

## 12市町村観光協会

公益財団法人名護市観光協会
一般社団法人国頭村観光協会
一般社団法人 大宜味村観光協会
NPO法人 東村観光推進協議会
一般社団法人今帰仁村観光協会
一般社団法人 本部町観光協会
一般社団法人 恩納村観光協会
一般社団法人宜野座村観光協会
一般社団法人 金武町観光協会
伊江島観光協会
一般社団法人 伊平屋島観光協会
一般社団法人いぜな島観光協会

会員数 **73** 企業・団体 2026年5月31日時点

# やんばるの未来を 共創する会員募集中！

2026年4月から始動した一般社団法人沖縄やんばるDMOでは、  
共に観光でやんばるを盛り上げてくださる事業者の方々を募集しています。

## DMOとは？

**DMO** : Destination Management/Marketing Organization  
多様な関係者との連携による観光を軸とした地域づくり法人。観光消費額や宿泊数などのデータに基づいた観光戦略を立案・実行し、観光地経営を担います。



## 沖縄やんばるDMOとは？

沖縄本島北部12市町村を対象にマーケティング・マネジメントを行う組織です。

### 活動目的

- ・ 世界に向けたやんばるの本質的価値の提供
- ・ 経済効果の最大化と環境負荷の最小化の両立
- ・ 地域と来訪者が共に幸せを分かち合う豊かな未来の実現

### リーディング事業



## 沖縄やんばるDMO会員募集内容

### 会員特典

- 観光DMP等の勉強会への参加
- 発行物等の配布
- 年次総会等への参加
- 沖縄やんばるDMOウェブサイトでの紹介
- 広域的かつ公益的な観光振興に資する共同事業の機会
- やんばるの観光振興に資する情報提供の機会

### 会員メリット

- ①社員の人材育成・スキル獲得 (人的支援)
- ②産学官連携プロジェクト
- ③域内外のビジネスネットワークによる多様な機会
- ④DMO共創による企業認知度・価値向上

### 応募資格

- ・ 沖縄やんばるDMOの設立に賛同し、協働して観光振興に取り組む意思がある企業または個人事業主であること
- ・ 国内に本店、支店又は事業拠点を有すること (県外企業可) 等

### 募集内容

- ①人的支援(出向・派遣) ②金銭的支援(会費・協賛金等) ③物的・技術支援

### 応募期間

随時受付

### 提出先・お問い合わせ

- 一般社団法人沖縄やんばるDMO  
〒905-0009 沖縄県名護市宇茂佐の森5-2-7 北部会館2F
- info@yambaru-dmo.org
- 0980-52-7048 (北部広域市町村圏事務組合内)
- <https://yambaru-tour.net/business/news/5762/>

▼詳細・様式▼



北部12市町村の観光協会と商工会会員は、会員費無料



# 4月からの活動

2026年4月24日からスタート！

めんそーれ♪  
Welcome to Yambaru!  
We'd love your feedback!

# やんばる ハッピーアンケート

応募期間 Application period 2026/4/24 [fri] ~ 2027/3/31 [wed]

アンケートに答えて素敵な賞品を当てよう!  
Give your feedback and get great prizes!

やんばるエリアの観光スポット(約160か所)に設置された  
ポスター、チラシまたはPOPのQRコードを読み取り、  
アンケートに答えて、ご応募いただいた方の中から抽選でプレゼント！



やんばる内を36エリアに分けて  
約160箇所設置告知QRコードを設置

国内在住の応募者 Participants in Japan	海外在住の応募者 Participants outside Japan
3名様	1名様
 やんばるエリア 宿泊リゾートペア宿泊券(最大10万円分) Resort pair accommodation vouchers worth 100,000 yen for 3 people	 E-GIFT 1,000\$ Visa eGift 1,000\$(1)

QRコードを読み取って  
アンケートに答えると  
抽選でプレゼント

アンケート協力の呼びかけをお願いします！

# やんばる観光実態分析説明会の実施



やんばる ー沖縄県北部ー

事業者向けサイト

MENU

ホーム > 事業者向けお知らせ > 【実施報告】やんばる観光実態分析説明会を実施いたしました。

## 【実施報告】やんばる観光実態分析説明会を実施いたしました。

投稿日: 2026年5月15日(金)

# 活動報告

本日、Nago Acceleration Garageにて「やんばる観光実態分析説明会」を開催いたしました。

会場には20名、オンライン63名、計83名の皆様にご参加いただきました。お忙しい中、貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。

質疑応答の時間には沖縄やんばるDMOの活動に関する質問や、事業者様の率直なご意見をいただき、皆様のやんばるの未来に対する関心の高さと、私たちが担う役割の大きさを改めて実感いたしました。

沖縄やんばるDMOは引き続き、データ収集と分析を行い、地域の皆様や事業者の皆様と共に歩み、12市町村の豊かな未来に向けて邁進してまいります。



**分析資料は、Yam-D内でダウンロード可能**

# 沖縄やんばるDMO 事業説明 & 会員募集の活動

- 4月 8日 名護ロータリークラブ
- 4月 27日 沖縄銀行名護、本部支店取引先懇親会
- 5月 7日 名護市商工会三役会
- 5月 18日 名護漁業協同組合
- 5月 20日 全国空き家アドバイザー協議会沖縄県名護支部
- 5月 27日 沖縄観光コンベンションビューロー
- 5月 27日 奄美・沖縄ガイドネットワーク
- 5月 29日 沖縄県文化観光スポーツ部
- 5月 29日 北部法人会通常総会



名護漁業協働組合とは、名護市観光情報センターを交通の拠点としての活用も視野に協議を開始





# 「やんばる」を守ることで発展する

一度無くすと、二度と取り戻せないものを守っていく  
地域固有の自然景観と祖先崇拝の文化

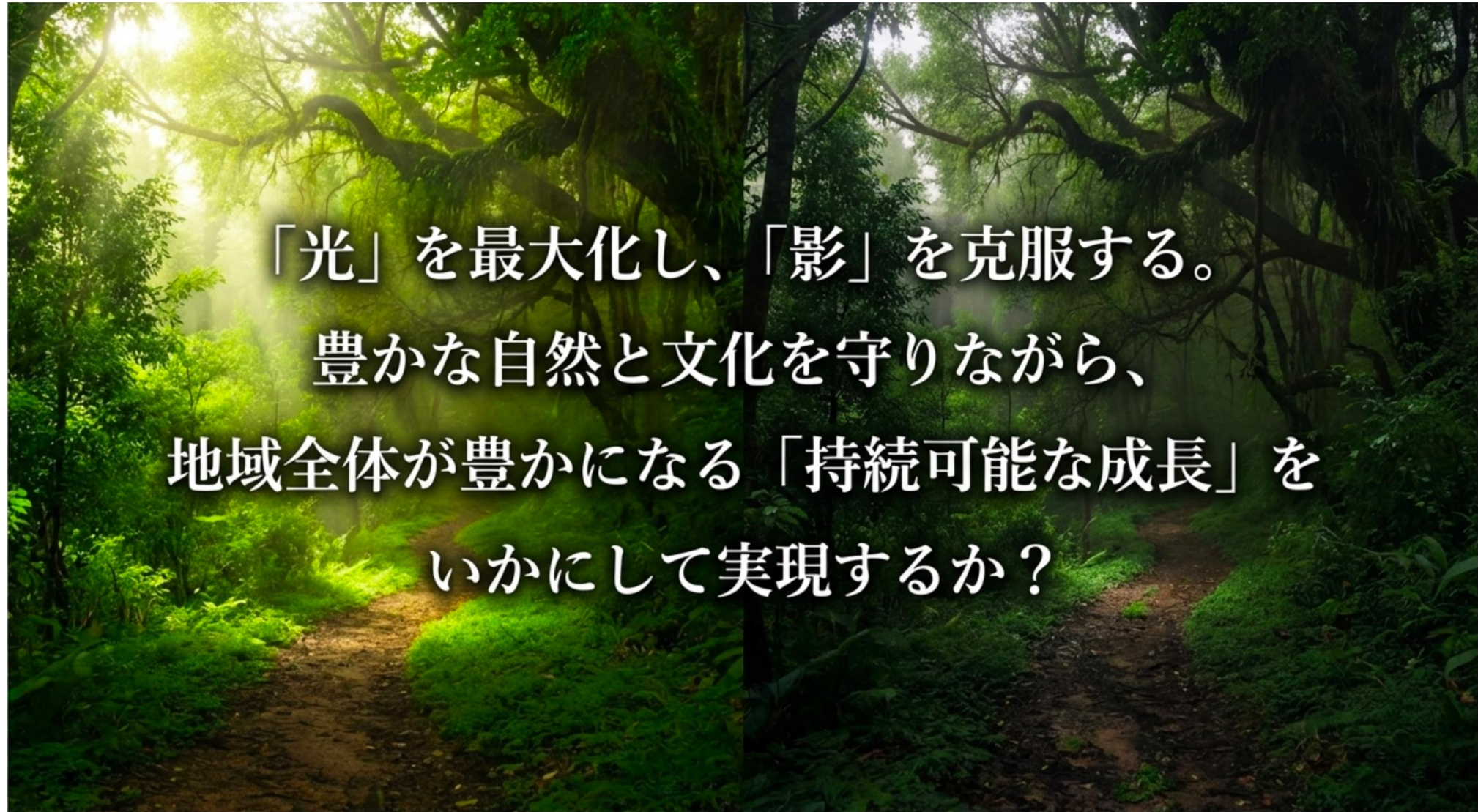
# 「やんばる」には、世界の最先端がある

日頃の生活を（有料で）お裾分けをする  
住んで善し、訪れて善し の観光による「まちづくり」

# 「やんばる」から世界を変えていける可能性

# 「保護」と「振興」の二項対立を乗り越えるチャレンジ

沖縄やんばるDMOの活動の根源は、やんばるの奇跡的な自然と、そこで生まれた文化、つまり「生命の輝き」を守り、未来へ継承すること。そして、その価値を地域経済の力に変え、一過性ではない「持続可能な豊かさ」を実現していく。



「光」を最大化し、「影」を克服する。

豊かな自然と文化を守りながら、

地域全体が豊かになる「持続可能な成長」を

いかにして実現するか？

# やんばるの挑戦は、沖縄全体の挑戦です。

私たちは、「世界に誇るやんばるの「生命の輝き」を未来へ繋ぎ、持続可能な豊かさを地域にもたらし存在として取組み、やんばるを「住んで善し、訪れて善し」の、世界が羨む持続可能な地域として「来た時よりも美しく」繋いでいく覚悟です。

この取組みは、私たちだけでは成し遂げられません。

沖縄県、そして全ての関係者の皆様と共に、やんばるの、そして沖縄の輝かしい未来を創造していきたいと強く願っています。

# 毎月第1水曜日 YDPM (Yambaru Destination Players Meeting)

@Nago Acceleration Garage



## YDPM(Yambaru Destination Players Meeting)

公開グループ・メンバー19人



+ 招待する

シェアする

ディスカッション

イベント

メディア

ファイル

メンバー

Q

...

「やんばる」エリアで観光に関係してしまっている方々による、ゆる〜い繋がりをしているコミュニティです。  
参加資格は、やんばるへの愛を持っていること。  
毎月の第1水曜日に、ゆる〜く集まる場をつくっていきます。



https://yambaru-tour.net/business/dmp/

やんばる - 沖縄県北部 - 事業者向けサイト

お知らせ 観光統計 沖縄やんばるDMOとは 写真ギャラリー バンフレット お問い合わせ

観光客の方へ

ホーム > DMP

## Yam-D (やんでい) やんばる観光データポータルサイト

Yambaru Tourism Data Portal

### やんばるエリア観光速報

やんばるエリアの観光統計データ

2026年03月 やんばるエリアの観光統計データ

入込数 942,476 人	観光消費額 合計 69,910,637,500 円	観光消費額 1人あたり 74,178 円	満足度割合 (満足~大変満足の割合) 96.05%	観光客NPS 53.95	宿泊稼働率(OTA) 66.41%
------------------	---------------------------------	----------------------------	---------------------------------	-----------------	----------------------

### 入込数 時系列および年間比較

入込数

月	入込数
2025年10月	~1M
2025年11月	~1.5M
2025年12月	~1M
2026年1月	~2.5M
2026年2月	~5.2M
2026年3月	~4M

年	観光消費額合計
2025	2,380,182
2026	2,829,425

- 入込数【月次更新】：日本観光振興協会が公表しているオープンデータを元に算出
- 観光消費額合計【月次更新】：入込数 × 「やんばるハッピーアンケート」の値を元に算出
- 1人あたり観光消費額【月次更新】：やんばるエリア全体消費額を入込数で割ることで算出
- 満足度割合【月次更新】：「やんばるハッピーアンケート/やんばるエリアでの体験・サービスの満足度」の設問にて「大変満足・やや満足・満足」のいずれかを選択した割合を元に算出
- 観光客NPS【月次更新】：「やんばるハッピーアンケート 推奨度」の値を元に算出
- 宿泊稼働率【月次更新】：「宿泊クローリングデータ」のうち、掲載数、在庫数を元に算出

※日本人のみのデータを元に算出しています。

Tableau Public のビュー

このページをシェアする！

Twitter Facebook Line

